

商品調達における 常陸那珂港区活用事例

茨城港 北関東セミナー



KOMERI

SCM部 井口敏明

2025年1月30日

会社概要



創 業	1952年(昭和27年)4月
設 立	1962年(昭和37年)7月
資 本 金	188億2百万円
	代表取締役社長 捧 雄一郎
事業内容	パワー及びハードアンドグリーン 等のチェーンストア経営
本 社	新潟県新潟市南区清水4501-1
店 舗	パワー 106店舗 PRO 17店舗 ハードアンドグリーン 1,095店舗 アテナ 4店舗 合 計 1,222店舗 (2024年9月末)
営業収益	3,707億52百万円(2024年3月期)
経常利益	222億14百万円(2024年3月期)
株式上場	東京証券取引所 プライム市場



＜主なグループ企業＞

北星産業株式会社
株式会社ビット・エイ
株式会社コメリキャピタル
株式会社ライフコメリ
株式会社ムービータイム



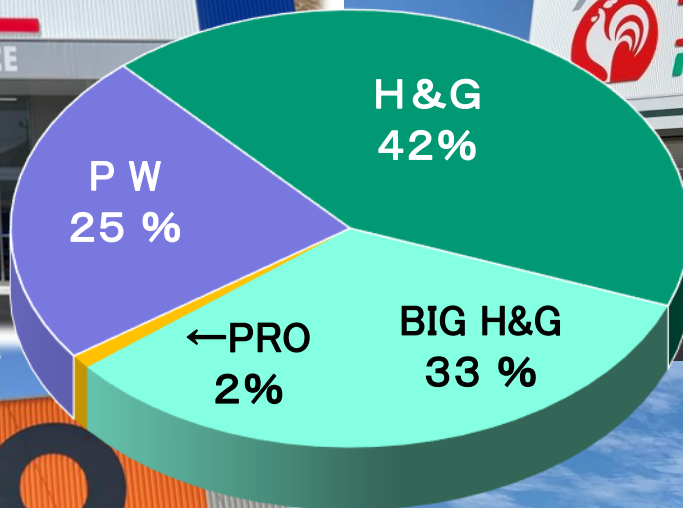
店舗フォーマットと売上構成



パワー(PW)



ハードアンドグリーン(H&G)



コメリPROの出店拡大中



BIG H&G (旧HC)

物流革新を担う物流センター



①入荷



②保管・仕分け



③出荷



商品特性に適した効率的な物流システムが不可欠



拡大するプライベートブランド商品



コメリオリジナル商品 選んでお得! コメリのオリジナル商品



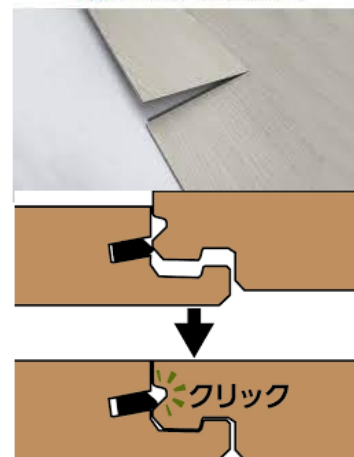
GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞

空気入れ作業を
らくに!!

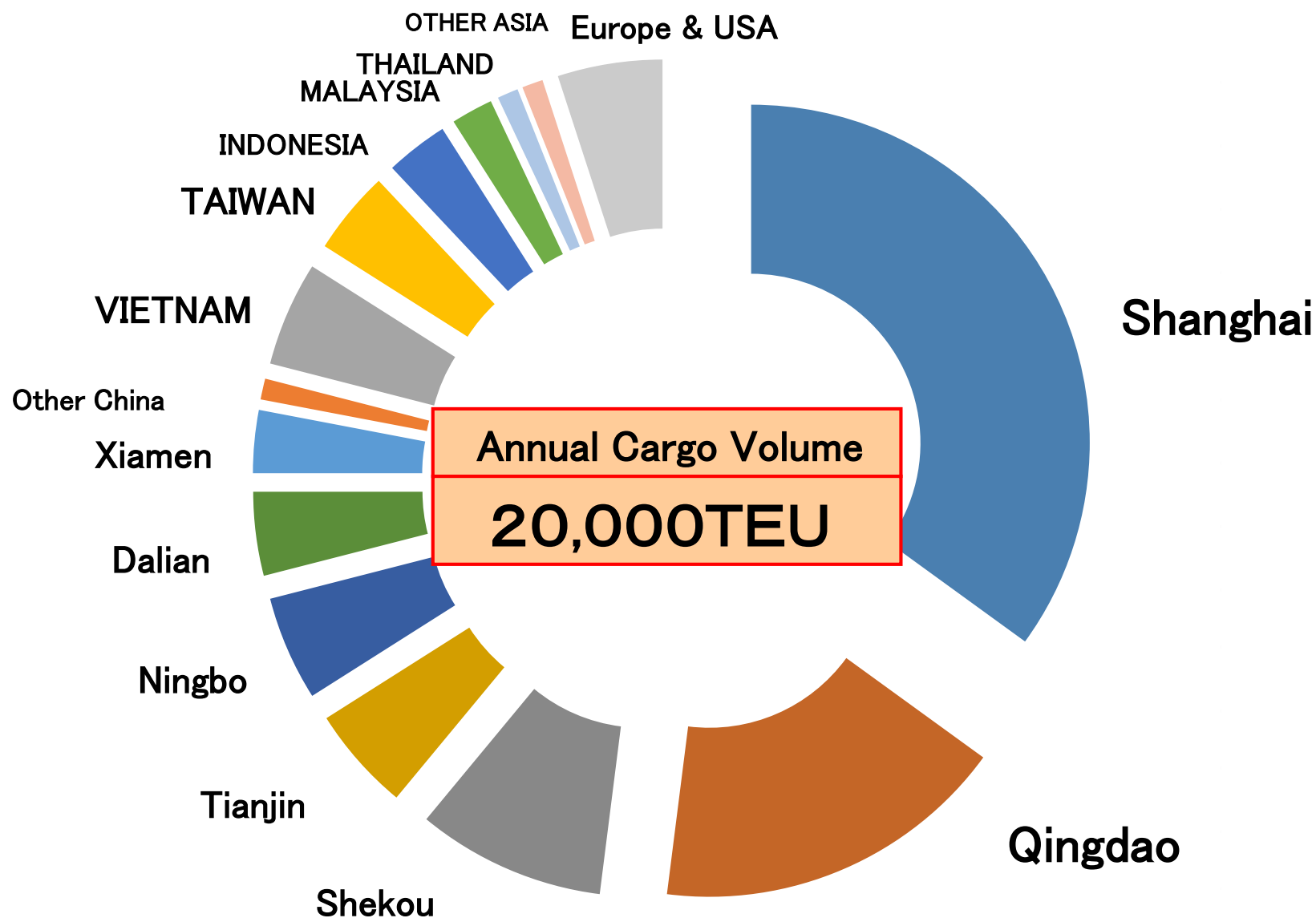
UBERMANN®



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞



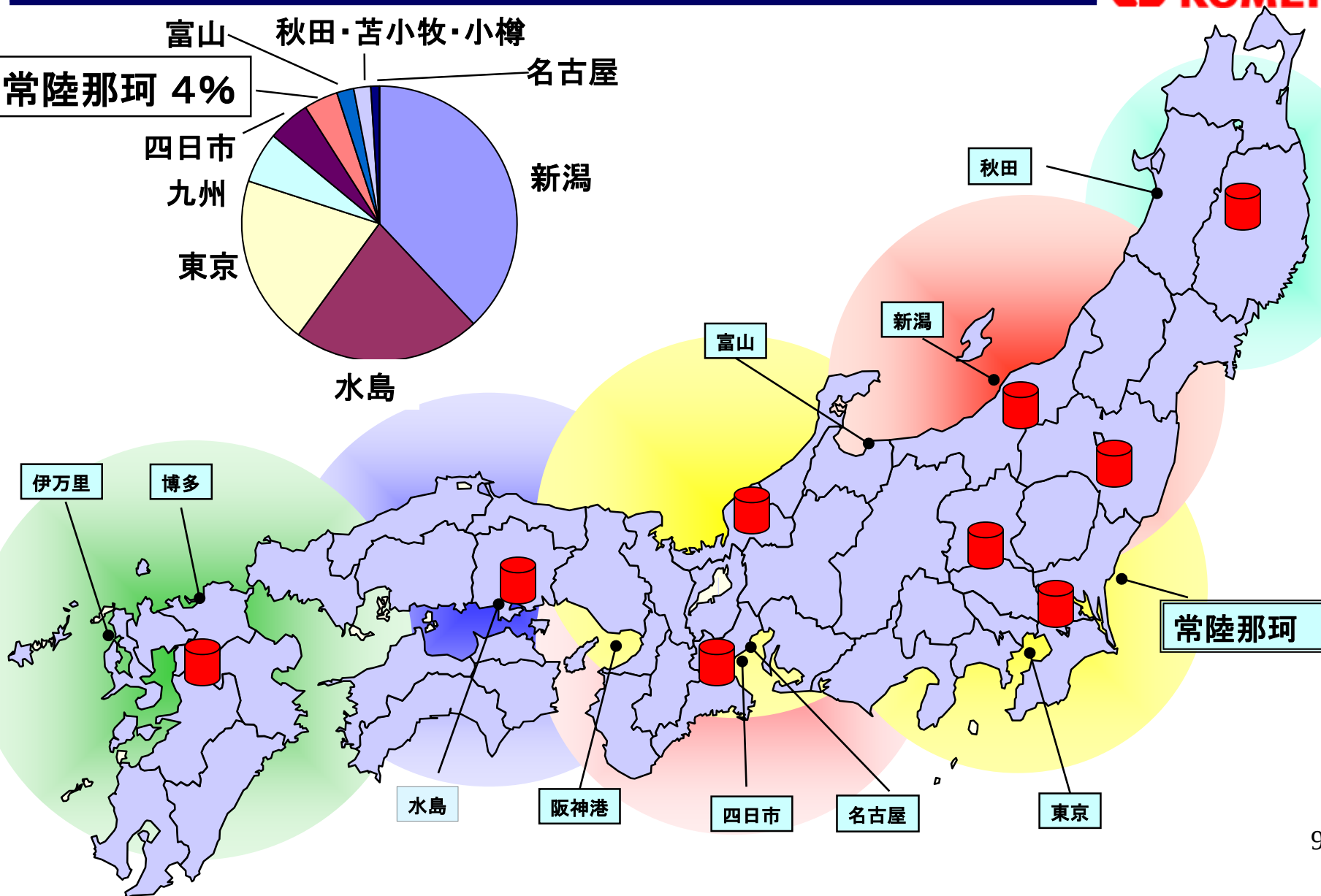
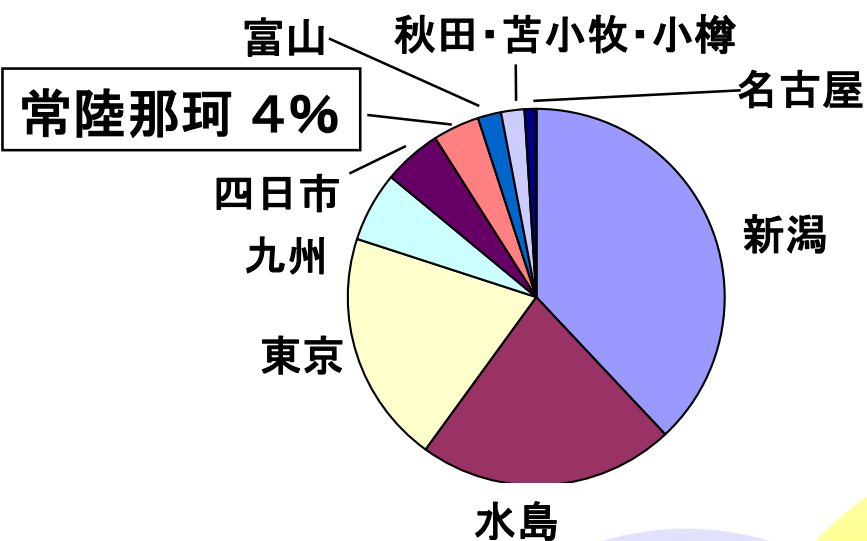
国別及び輸出港別の比率



海外物流・混載倉庫と海外店舗



輸入港利用状況



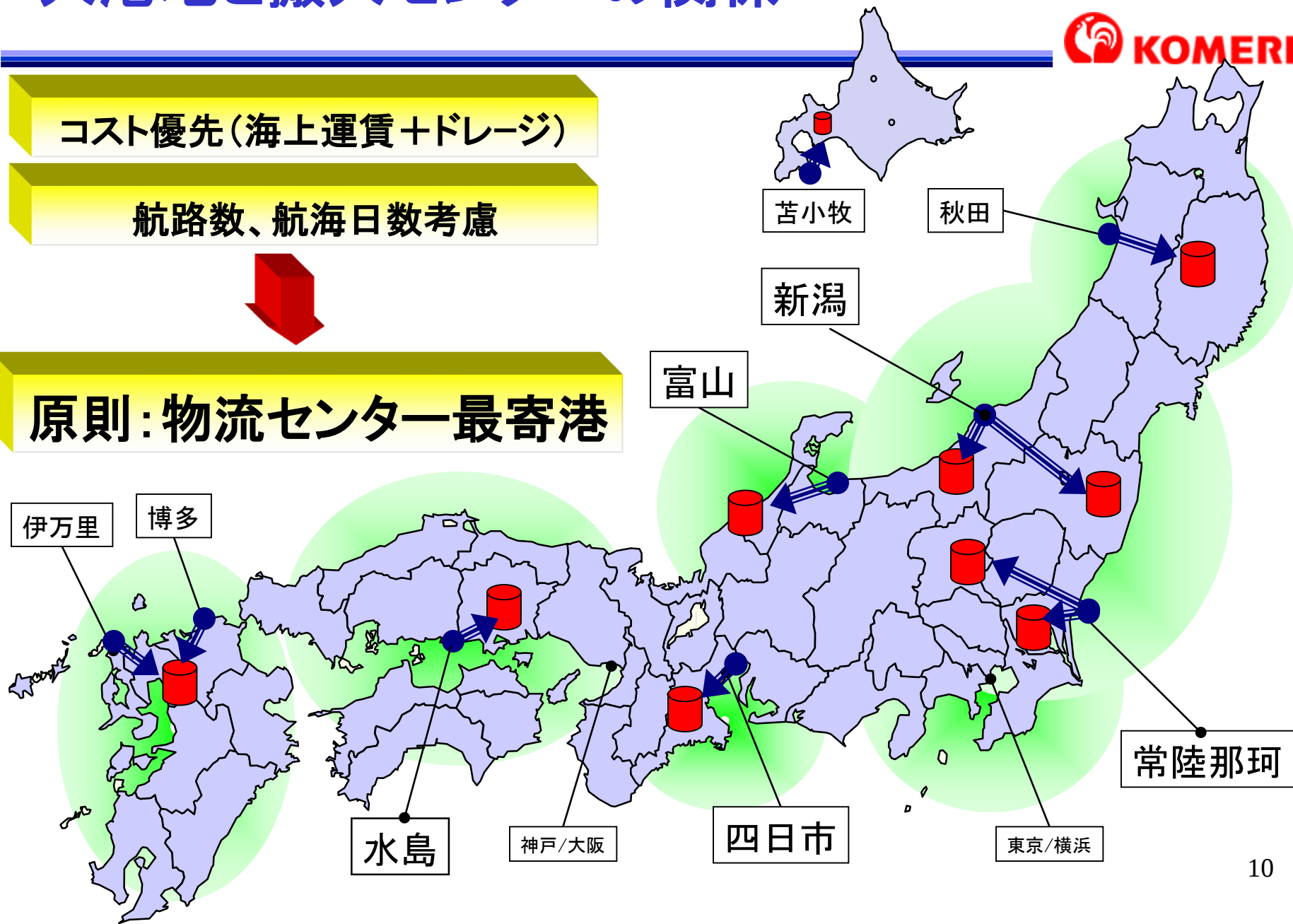
入港地と搬入センターの関係



コスト優先(海上運賃+ドレージ)

航路数、航海日数考慮

原則：物流センター最寄港



海外物流倉庫出荷時の利用港湾

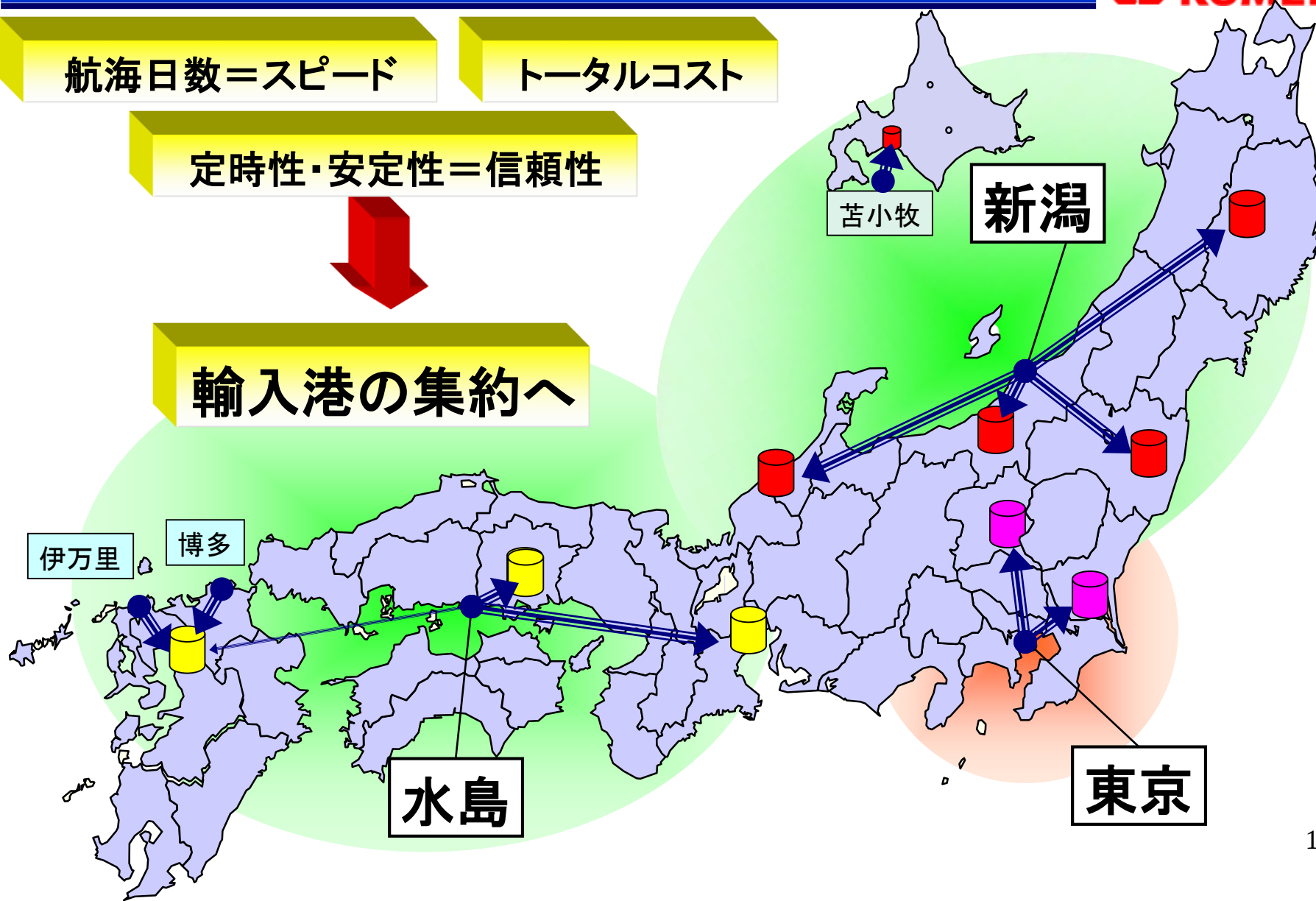


航海日数＝スピード

トータルコスト

定時性・安定性＝信頼性

輸入港の集約へ



コンテナ不足、物流混乱時期の対応



巻頭特集



コメリSCM部に聞く 地方港活用の荷主は コロナ禍に どう対応したか

今年度の地方港特集では、地方港を利用する荷主企業の代表例として、ホームセンター大手のコメリのSCM部に話を聞いた。コロナ禍によるサプライチェーンの混乱は3年目に入り、世界各地の港湾混雑や輸送遅延がなお続いている。4月から5月にかけて起きた上海のロックダウンは、物流にとりわけ大きなインパクトを与えることとなった。地方港を活用しつつ、中国などアジア各地から多くの貨物を輸入する大手荷主は、この難局にどう立ち向かっているのか。

海事プレス&DailyCargo臨時増刊号 地方港縦断より

JRコンテナ利用のクロスドック配送



- ・環境に配慮した配送
CO2削減効果 年間約36万Kgs (132世帯分)※
- ・デバン能力の増強

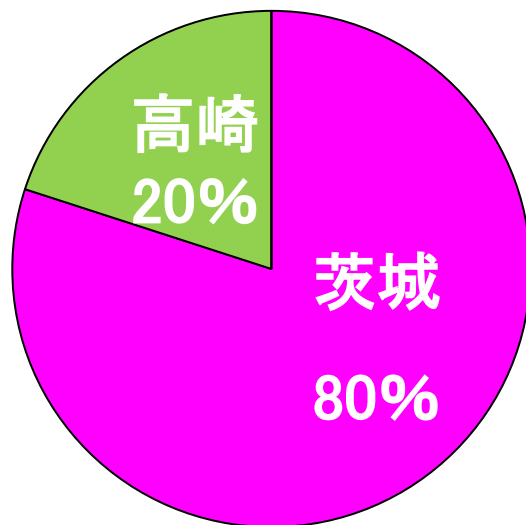


※2020年日本CO2排出量 10億5千万トン、1世帯 2,720Kgsから算出

常陸那珂港入港コンテナの納品先

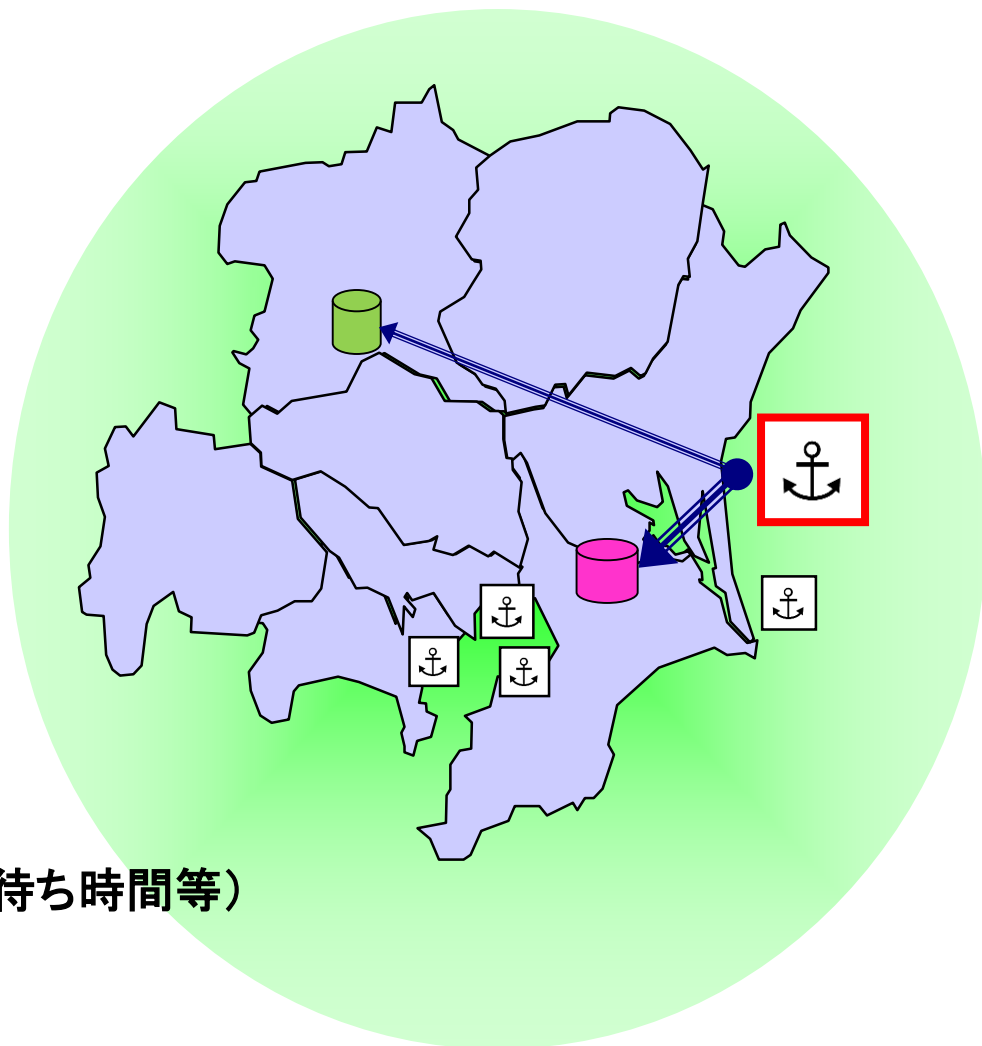


納品先の比率



常陸那珂港を選択する理由

- ① 地理的優位性とBCP対応
- ② 必要十分な利便性(コンテナ航路・CY待ち時間等)
- ③ トータルコストの比較結果
- ④ 助成金制度



これからの常陸那珂港への期待



成長センターである東南アジア、華南とのダイレクト航路



既存航路の増便、延伸



北関東地域の物流機能補完をアピール



積極的に選ばれる魅力ある港へ！

本日はありがとうございました

